

控

秘

燃研秘第八一號  
10

昭和十三年八月

作  
業  
經  
過

(昭和十二年度)

內 容	目次	4頁
	本文	111頁

海軍燃料廠研究部

昭和十二年度作業經過目次

一 一般經過概要

二 昭和十二年度試驗檢査並ニ實驗成績調

(1) 一般分析試驗ニ關スル統計

三 豫算

(1) 昭和十二年度豫算、決算調

(2) 昭和十二年度出張旅費調

(3) 昭和十二年度圖書費調

(4) 昭和十二年度建造物補修費調

(一) 新營

(二) 修繕

(1) 昭和十二年度新設假設物調

(2) 昭和十二年度工事別實驗研究費調

(一) 昭和十二年度工事別人件費調

頁

一 一 七 七 八 八 一 一 三 一 五 五 七 八 九 二



(二) 昭和十二年度工事別器具機械購入費調	二三
(三) 昭和十二年度工事別藥品及消耗品使用高調	二五
(四) 昭和十二年度廠內委託製作並ニ修理費調	二七
(1) 試驗及研究費	二七
(2) 水陸整備費	二九
(ハ) 雇員平均給料調	三〇
(イ) 工員平均賃給調	三一
(ウ) 昭和十二年度購入主要器具機械調	三一
(一) 試驗及研究費支辨	三一
(機械)	三一
(二) 水陸整備費機械費支辨	三二
( " )	三二
(三) 受託研究費支辨	三三
( " )	三三
(四) 試驗及研究費支辨	三三
(器具)	三三
(五) 受託研究費支辨	三六
( " )	三六
(カ) 昭和十二年度各科破損器具機械調	三六

四 昭和十二年度研究實驗成績報告類發行

(1) 研究實驗成績報告 (普通)

(2) " (秘)

(3) 研究雜報

(4) 摘 錄

(5) 調查報告

五 昭和十二年度配員並異動調

(1) 配 員 表

(2) 判任官以上異動調

(3) 雇員以下異動調

六 雇員以下出身學校並海陸軍出身者調

七 昭和十二年度工員勤務關係調

(1) 遲刻者調

(2) 公務負傷休業者調

三七

三七

三八

四〇

四一

四三

四三ノ二

四三ノ二

四四

五六

八六

八七

八七

八七



一〇	善行及受罰者調	八七
一一	昭和十二年度主要記事調	八七
一〇	病氣休業者調	八七
〇九	事故休業者調	八七
〇八	早退者調	八八
〇七	昭和十二年度講演並ニ雜誌會調	八九
〇六	(一) 部内講演	八九
〇五	(二) 部外講演	九〇
〇四	(三) 特殊講演	九一
〇三	(四) 雜誌會	九二
〇二	受特許調	九四
〇一	九	九四



昭和十二年度作業經過

一 一般經過概要

年度初頭訓令研究實驗項目ニ對シ銳意研究實驗ヲ進メツツアリシガ七月支那事變ニ際會セシヲ以テ事變ニ關聯シ特ニ緊急解決ヲ要スル項目ヲ選定シ之ニ主力ヲ傾注シテ急速解決ヲ圖リ本事變專ニ對處セリ之ガ爲基礎的研究ニ亘ルモノ又ハ差當リ不急ト認メラルル研究ハ一時之ヲ中止シ其ノ人員ヲ前記研究ニ集中セリ選定項目次ノ如シ

(4) 廠内生産設備ニ關シ選定シタル研究實驗項目

(一) 研究實驗ヲ略完了シ實裝置建設ニ移セルモノ

(1) 重合揮發油製造ニ關スル研究實驗

(2) 四エチル鉛製造ニ關スル研究實驗

(3) 油類高溫壓水素添加ニ關スル研究實驗

(4) 航空潤滑油製造ニ關スル研究實驗

(二) 既設裝置改善ニ關スルモノ

- 九六式水素添加装置用觸媒ノ研究
- (三) 建設中ノ装置ニシテ尙研究ヲ要スルモノ
  - (1) 重合揮發油製造装置
    - (A) 觸媒ノ研究
    - (B) 飽和炭化水素ノ不飽和化
  - (2) 四エチル鉛製造装置
    - 製造價格ノ低下ヲ目途トスル研究實驗
  - (3) 九八式水素添加装置
    - 觸媒ノ研究
  - (4) 航空潤滑油製造装置
    - 脱蠟法、石炭抽出法ノ研究實驗
- (四) 急速解決ヲ要スル爲選定シタル研究實驗項目
  - (一) 高オクタン航空燃料製造ノ研究實驗
  - (1) 油類水素添加ノ研究實驗



- (2) イソプテラルコール合成ノ研究
  - (3) 新種配合用燃料合成ノ研究
  - (二) 炭化水素瓦斯分離ノ研究實驗
  - (三) マタンガス利用ノ研究實驗
  - (四) 航空用潤滑油ノ研究實驗
  - (五) 石炭液化ノ研究實驗
  - (六) 各種現用燃料ノ試験、規格及試験法ニ關スル研究實驗
- (イ) 部外委託研究
- 研究員不足ノ缺ヲ補ヒ且研究内容ヲ充實セシムル目的ヲ以テ主トシテ基礎的研究事項十一件ヲ選定シ之ヲ各大學ニ委託研究セリ
- (二) 吳工廠ト共同研究
- (一) 内火機械曲肱室爆發防止ニ關スル實驗
  - (二) 空氣壓搾唧筒内部潤滑油ノ試製
  - (三) 魚雷用燃料及潤滑油ニ關スル研究



（一）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ

（二）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ

（三）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ

（四）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ

（四）主要事項摘記スルニ次ノ如シ

- （一）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ
- （二）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ
- （三）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ
- （四）本年度研究實驗實費總額六拾貳萬圓餘ニシテ之ガ從事員ハ部長以下二百八拾餘名ニ及ベリ

廠内ニ設置セラレ委員長委員任命セラレタリ

(五)昭和九年以來台灣新竹市海軍天然瓦斯實驗所ニ於テ天然瓦斯ヨリ  
ベンゾール合成實驗ニ關シ銳意實驗研究中ノ所良成績ヲ舉ゲ實驗  
終了ニ付昭和十三年一月二十五日閉鎖セリ

(六)人事關係ニ於テ四月六日内令第四百十六號改定ニ依リ機關科佐官  
一、技師三、書記一増員セラレ當部陣容強化ス

(七)次ニ本年度ヨリ廣島高等工業學校選科生(應用化學科)一名派遣  
修學スルコトトナリ廠内希望者ニ付試験選衡ノ結果當部ヨリ一名  
派遣セリ

(八)本年度ハ支那事變ノ爲陸軍應召者以外ニ多ク研究實驗ニ支障ヲ來  
シタルヲ以テ殆ド全員ニ増服業ヲ命ジ且工員募集ヲ行ヒ充員セリ  
之ヲ要スルニ本年庶事變下ニ於ケル作業ハ緊張裡ニ終始シ戰時体制下組  
織ヲ人員ノ充實ニ依リ益々強固ニシ關係各部ト密接ナル連繫ヲ保持シ繁  
忙ナル作業ヲ處理シ第一線部隊ニ供給セル燃料及潤滑油ノ試験検査ヲ急



計の増進を期す。一、燃料の生産を促進し、二、輸送の便を期す。三、航空機の改良を期す。四、航空機の整備を期す。五、航空機の運用を期す。六、航空機の安全管理を期す。七、航空機の整備を期す。八、航空機の運用を期す。九、航空機の安全管理を期す。十、航空機の整備を期す。十一、航空機の運用を期す。十二、航空機の安全管理を期す。十三、航空機の整備を期す。十四、航空機の運用を期す。十五、航空機の安全管理を期す。十六、航空機の整備を期す。十七、航空機の運用を期す。十八、航空機の安全管理を期す。十九、航空機の整備を期す。二十、航空機の運用を期す。二十一、航空機の安全管理を期す。二十二、航空機の整備を期す。二十三、航空機の運用を期す。二十四、航空機の安全管理を期す。二十五、航空機の整備を期す。二十六、航空機の運用を期す。二十七、航空機の安全管理を期す。二十八、航空機の整備を期す。二十九、航空機の運用を期す。三十、航空機の安全管理を期す。三十一、航空機の整備を期す。三十二、航空機の運用を期す。三十三、航空機の安全管理を期す。三十四、航空機の整備を期す。三十五、航空機の運用を期す。三十六、航空機の安全管理を期す。三十七、航空機の整備を期す。三十八、航空機の運用を期す。三十九、航空機の安全管理を期す。四十、航空機の整備を期す。四十一、航空機の運用を期す。四十二、航空機の安全管理を期す。四十三、航空機の整備を期す。四十四、航空機の運用を期す。四十五、航空機の安全管理を期す。四十六、航空機の整備を期す。四十七、航空機の運用を期す。四十八、航空機の安全管理を期す。四十九、航空機の整備を期す。五十、航空機の運用を期す。五十一、航空機の安全管理を期す。五十二、航空機の整備を期す。五十三、航空機の運用を期す。五十四、航空機の安全管理を期す。五十五、航空機の整備を期す。五十六、航空機の運用を期す。五十七、航空機の安全管理を期す。五十八、航空機の整備を期す。五十九、航空機の運用を期す。六十、航空機の安全管理を期す。六十一、航空機の整備を期す。六十二、航空機の運用を期す。六十三、航空機の安全管理を期す。六十四、航空機の整備を期す。六十五、航空機の運用を期す。六十六、航空機の安全管理を期す。六十七、航空機の整備を期す。六十八、航空機の運用を期す。六十九、航空機の安全管理を期す。七十、航空機の整備を期す。七十一、航空機の運用を期す。七十二、航空機の安全管理を期す。七十三、航空機の整備を期す。七十四、航空機の運用を期す。七十五、航空機の安全管理を期す。七十六、航空機の整備を期す。七十七、航空機の運用を期す。七十八、航空機の安全管理を期す。七十九、航空機の整備を期す。八十、航空機の運用を期す。八十一、航空機の安全管理を期す。八十二、航空機の整備を期す。八十三、航空機の運用を期す。八十四、航空機の安全管理を期す。八十五、航空機の整備を期す。八十六、航空機の運用を期す。八十七、航空機の安全管理を期す。八十八、航空機の整備を期す。八十九、航空機の運用を期す。九十、航空機の安全管理を期す。九十一、航空機の整備を期す。九十二、航空機の運用を期す。九十三、航空機の安全管理を期す。九十四、航空機の整備を期す。九十五、航空機の運用を期す。九十六、航空機の安全管理を期す。九十七、航空機の整備を期す。九十八、航空機の運用を期す。九十九、航空機の安全管理を期す。一百、航空機の整備を期す。

速迅速ニ實施スルト同時ニ優良ナル燃料及潤滑油ノ生産研究ヲ可能ナラシメ第一線航空部隊ノ威力ヲ遺憾ナク發揮セシメ當部使命ヲ達セシメタリ 尙燃料國策具体策樹立ニ關シテモ寄與セシ所大ナルモノアリ



昭和十二年度試験検査並ニ實驗成績調  
 (1) 一般分析試験ニ關スル統計

計	月別												計	
	三	二	一	一	一	一	九	八	七	六	五	四		種別
一							一						石	
三八	八		二	二	三		一	一	六	五	三	七	炭	工業分析
							一						ピツ子	元素分析
三九九	五四	二一	一九	三八	二四	四八	三一	三七	三一	五八	一七	二一	油類	
一五三二	一六八	六三	一七八	一二九	一六一	九三	一三九	一五四	一五八	一五一	五七		其ノ他	
一九七一	二二〇	一八四	二一八	一五六	二〇九	一七七	一九一	二二一	一七一	一七一	八五		計	











(四) 昭和十二年度出張旅費調

科目	使用別	高等官	判任官	雇員	工員	計
內國旅費 (部内)		二六七七・九七〇	四一八・二九〇	三〇八・六二〇	—	三,〇〇四・八八〇
" (部外)		一六八四・二二〇	—	—	—	一六八四・二二〇
" (天然瓦斯)		九八・九四〇	五一・九五〇	一三二・三〇〇	—	二八三・一九〇
" (實驗部) (建設要務)		七六二・二〇〇	一二九・一六〇	—	—	八九一・三六〇
水陸整備費監督諸費		八三一・九〇〇	九〇・四五〇	六〇・一六〇	—	九八二・五一〇
受託研究費 (日登)		六八一・四八〇	一六四・八〇	一九六・五一〇	—	六〇二・七八〇
" (空廠)		五四五・八七〇	—	—	—	五四五・八七〇
試驗及研究費		—	—	—	一九〇・三三〇	一九〇・三三〇
官房機密第三三四一 號訓令實驗旅費 (實驗部建設要務)		—	—	—	二,三二二・八二〇	二,三二二・八二〇



官房機密第三三四一 號訓令實驗旅費	三〇二 七〇〇	一		一		三〇二 七〇〇
官房機密第一四二二 號訓令實驗旅費	四二一 一〇〇	一		一		四二一 一〇〇
計	一 七二三 〇	二		二		一 七二三 〇

備考、 台灣天然瓦斯實驗所出張中ノ滞在旅費ハ含まズ

昭和十二年度圖書費調

科 目	金 額	記 事
廳費 圖書及印刷費	1179 360	
“ 兵要及技術圖書費	1586 070	
試驗及研究費	1010 380	
雜給、雜費及雜件費	104 030	
計	13071 840	



内 譯

部 別	使 途 別	計
研 究 部	内外雜報	四七五二六九〇
煉 炭 部	ナパンパク	一〇〇〇〇〇〇
製 油 部	單 行 本	四八〇〇二四〇
會 計 部	計	一〇五五一九三〇
醫 務 部		五七七八四〇
副 官		二五〇九五〇
教 習 所		一五六一四一〇
計		九六五八〇
		一三〇六五九九〇

總務部ハ副官トシテ算定ス

(二) 昭和十二年年度建造物補修費調  
(一) 新 營

科目	番 號	名 稱	數 量	價 格	取 得 年 月 日	記 事
作業費	八六一	第一實驗場模様替		八〇一七〇〇	昭和一一年一四	内官給材料 六〇三、七四〇圓 延滞違約金 二九、五五〇圓 控除ス
	八六七	第三實驗場模様替		二七一〇〇〇	昭和一一年一三〇	請負ニ附シタル額一九五、〇〇〇圓 撤去シタル冷却室金三、三〇〇圓 撤去費△三、六〇〇圓
水陸整備費	一一六	石炭液化裝備内 反 應 室	二二五	令) 六八〇〇〇〇 二、三三一八七二〇	(床蔽キ) 昭和一一年一三二	内官給材料 八六〇、七三〇圓
	一一七	機 械 室	四八五	(十) 五四三〇〇〇 二、八四三、六八〇	(床蔽キ)	八、八二〇、〇〇〇
	一一〇	洗 炭 場	一四七	二、八五〇〇〇〇	昭和一一年一三二	
	九四五	作 業 場	一三一・六	七五八、四二〇	昭和一一年一三一	内官給材料 四四、八〇圓
一一六	便 所	八	五八九、八〇〇			





(二) 修繕

建物番號	名稱	價 格	記 事
一六	分 析 所	三 七 五 〇	
〃	〃	二 八 五 〇	
八七八	第 四 實 驗 場	二 九 〇 一 〇 〇	
八六八	第 三 實 驗 場	五 七 〇 〇	
一〇八一	實 驗 場	四 三 〇 〇	



昭和十二年度新設假設物調

名稱	數量	金額	完成年月日	記事
遠心分離器 上家		78100	昭和十二年三月三十一日	
混炭油實驗裝置假上家 外三廉新設		3747860	昭和十二年一月十日	
潤滑油精製裝置假上家		1863800	昭和十二年一月二十二日	
重合揮發油製造實驗裝置假上家增設		1210400	昭和十二年一月二十五日	
諸機械上家增設工事		1600000	昭和十二年三月二十四日	
重合實驗脫水素裝置假上家新營		768700	昭和十二年三月十五日	
高壓合成裝置假上家新營		2530000	昭和十二年三月十八日	
計		107909500		

昭和十二年度工事別實驗研究費調

工 事 別	人 件 費	器具機械費	材料消耗及藥品	電力及瓦斯費	圖 書 費
石炭液化ノ研究實驗	四〇三九五	二六四五三	七三五三	五八七五	一八六二
多ルル水素添加ノ研究實驗	一三三八六	一九五七	二八七六	一三二六	三八五
航空燃料ノ研究實驗	四三三六九	一〇七三六	一八七七二	一〇一五八	三三〇
宇イセル燃料ノ研究實驗	一、一〇四	七二九〇	一六六三四	二六五四	八四一
天然瓦斯ノ研究實驗	一四五五四	二七四八六	三六六五	—	—
潤滑油ノ研究實驗	一七二七一	二〇二六五	九一八八	三七四二	一八六
各種代用燃料ノ研究實驗	六三六一	四四四〇	四一五三	九九七	三二六
瓦斯ノ研究實驗	七五六七	一三八一七	二二四八	一七九八	七〇
石炭ノ研究實驗	一八九五	四〇二一	五七〇	五四七	一七三
混炭重油ノ研究實驗	六三五四	四四〇八	九六一	九四九	三〇〇
燃料及潤滑油ノ使用及貯藏 研究實驗	一〇二八〇	四九八	一四〇二	九七四	三〇九
	—	八九五	九九〇	九六二	一三二



工事別實驗研究費調

驗	人件費	器具機械費	材料消耗及藥品	電力及瓦斯費	圖書費	修理製作費	合計
驗	四〇三九五	二六四三三	七三三三	五八七五	一八六二	一四〇七一	九六〇一二
驗	一二二八六	一九五七	二八七六	一二二六	三九五	一七七七	一九八九九
驗	四三三六九	一〇七三三	一八七七	一〇一五八	三三〇	三二六六	一八六〇三
驗	一七一〇四	七二九〇	一九六三	二六五四	八四一	一八七三	四三三九八
驗	一四五五四	二七四八六	三六六五	—	—	—	四四七〇五
驗	一七二七一	二〇二六五	九一八八	三七四二	一八六	九六〇四	六二一五八
驗	六三六一	四四四〇	四二五三	九九七	三二六	五二	一六三二〇
驗	七五六七	一三八一七	二二四八	一七九八	五七〇	三四一四	二九四一六
驗	一八九五	四〇二一	五七〇	五四七	一七三	一七四四	八九五二
驗	六三五四	四四〇八	九六一	九四九	三〇〇	二五四〇	一五五一五
驗	一〇二八〇	四九八	一四〇二	九七四	三〇九	二四七八	一五九四四

燃料及潤滑油ノ規格及試験 法研究實驗	四七〇四	一	五七一	六四三	一三九	六〇六	九二九	九一五	二九四	八四九
燃料ノ試験検査	一七〇三	九	七二七	四一七	四一六	九九〇	一五九	九七八	五〇六	〇三八
資 源 調 査	三三九七	一	七四八	一八三	一七〇	二二〇	七三六	八五三	三三三	六三五
合 計	一九〇四	六	二三八	三九八	九〇〇	七六五	三二七	三二五	三二七	六九七

備考

- 一 航空燃料ノ研究實驗費ニ各大學ニ本年度委託ノ基礎研究委託費  
二〇、〇〇〇ヲ加算ス
- 二 支出額ト令示額ト合致セザルハ前年度繰越在庫品ノ使用ニ依ル
- 三 天然瓦斯ノ研究實驗ハ台灣ニ於テ實施セル爲人件費附屬費ノ外附屬  
費ハ加算セズ 且電力、瓦斯費及圖書費モ配分セズ





(一)昭和十二年度工事別人件費調

工事別	區分		職夫	人夫	合計
	雇員	工員			
石炭液化ノ研究實驗	五四九四	二四九四〇	一三三五八〇	二七三八	三四三〇六
多ルル水素添加ノ研究實驗	二二一五	八〇七六	一三七七八〇	三六	一〇四三九
航空燃料ノ研究實驗	九五五〇	二五九七四	九九七二四〇	二四六三四〇	三六七六八
アセチレン燃料ノ研究實驗	六一五三	三〇四六	一七九三四〇		九三八〇
天然瓦斯ノ研究實驗	六八五〇	五六六五		四六四六七〇	一二九八〇
潤滑油ノ研究實驗	二四〇二	一〇九一八	七九一四八〇	五一〇八一〇	一四六二三
各種代用燃料ノ研究實驗	一七六七	三三五一	二九〇一九〇		五四〇九
瓦斯ノ研究實驗	一七五二	四六〇九	一八〇二六〇		六五四一
石炭ノ研究實驗	二八六	一二三	一〇二二六〇		一六一〇
混炭重油ノ研究實驗	二四〇二	八五一		二一三五	五三八九
燃料及潤滑油ノ使用及貯藏研究實驗	一九八七	六二四〇	一四八五四〇	三五六八七〇	八七三三
	六八〇	七七〇			八六〇

昭和十二年度工事別人件費調

（一）昭和十二年度工事別人件費調

（二）昭和十二年度工事別人件費調

（三）昭和十二年度工事別人件費調

（四）昭和十二年度工事別人件費調

（五）昭和十二年度工事別人件費調

（六）昭和十二年度工事別人件費調

（七）昭和十二年度工事別人件費調

（八）昭和十二年度工事別人件費調

（九）昭和十二年度工事別人件費調

（十）昭和十二年度工事別人件費調

（十一）昭和十二年度工事別人件費調

（十二）昭和十二年度工事別人件費調

（十三）昭和十二年度工事別人件費調

（十四）昭和十二年度工事別人件費調

（十五）昭和十二年度工事別人件費調

（十六）昭和十二年度工事別人件費調

（十七）昭和十二年度工事別人件費調

（十八）昭和十二年度工事別人件費調

（十九）昭和十二年度工事別人件費調

（二十）昭和十二年度工事別人件費調

（二十一）昭和十二年度工事別人件費調

（二十二）昭和十二年度工事別人件費調

（二十三）昭和十二年度工事別人件費調

（二十四）昭和十二年度工事別人件費調

（二十五）昭和十二年度工事別人件費調

（二十六）昭和十二年度工事別人件費調

（二十七）昭和十二年度工事別人件費調

（二十八）昭和十二年度工事別人件費調

（二十九）昭和十二年度工事別人件費調

（三十）昭和十二年度工事別人件費調

（三十一）昭和十二年度工事別人件費調

（三十二）昭和十二年度工事別人件費調

（三十三）昭和十二年度工事別人件費調

（三十四）昭和十二年度工事別人件費調

（三十五）昭和十二年度工事別人件費調

（三十六）昭和十二年度工事別人件費調

（三十七）昭和十二年度工事別人件費調

（三十八）昭和十二年度工事別人件費調

（三十九）昭和十二年度工事別人件費調

（四十）昭和十二年度工事別人件費調

（四十一）昭和十二年度工事別人件費調

（四十二）昭和十二年度工事別人件費調

（四十三）昭和十二年度工事別人件費調

（四十四）昭和十二年度工事別人件費調

（四十五）昭和十二年度工事別人件費調

（四十六）昭和十二年度工事別人件費調

（四十七）昭和十二年度工事別人件費調

（四十八）昭和十二年度工事別人件費調

（四十九）昭和十二年度工事別人件費調

（五十）昭和十二年度工事別人件費調



燃料及潤滑油ノ規格及試驗法研究實驗	燃料ノ試驗檢査	資 源 調 査	小 計	附 屬 費	合 計
一八三三	三二七八	一六〇〇	四七三三	七〇九六	五四三三
五二一〇	五九〇〇	〇〇〇〇	七六〇〇	三三四〇	一〇〇〇
三二五〇	五七九三	一六二一	一〇四四三	一九一六	一二三六三
九〇〇〇	二八〇〇	一九六〇	四〇〇〇	五三〇〇	九三〇〇
	三五五		四三一四	八四三	五一五七
	九七〇		六四〇	〇九〇	七三〇
			六四三二	一〇〇二	七四三四
			三三〇	二八〇	四一〇
三九八三	九三三五	三二八二	一六二三	二八一一	一六〇七
四一〇〇	八四〇	〇〇〇	一六二三	一一四	二九〇

(二) 昭和十二年度工事別器具機械購入費調

工 事 別	金 額
一 石炭液化ノ研究實驗	二四一〇七
二 多ル水素添加ノ研究實驗	一七八三
三 航空燃料ノ研究實驗	七九五〇二
四 多イセル燃料ノ研究實驗	六六四四
五 天然瓦斯ノ研究實驗	二五〇四九
六 潤滑油ノ研究實驗	一八四六九
七 各種代用燃料ノ研究實驗	四〇四七
八 瓦斯ノ研究實驗	一二五九一
九 石炭ノ研究實驗	三六六五
一〇 混炭重油ノ研究實驗	四〇一八
一一 燃料及潤滑油ノ使用及貯藏研究實驗	四五四
一二 燃料及潤滑油ノ規格及試驗法研究實驗	五二〇四



三	燃料ノ試験検査	六五八六	七九〇
四	資源調査	六八一九	三三〇
	工務、圖書、倉庫	三六九八	八一〇
	一般	八一三三	一三〇
	一般器具機械修理費	七五三三	三六〇
合	計	二一八二九八	九〇〇

(三) 昭和十二年度工事別藥品及消耗品使用高調

工 事 別	種 別	藥 品		消 耗 品		合 計	
		圓	圓	圓	圓		
石炭液化ノ研究實驗		一六五七	一五七	五〇四七	五一五	六七〇四	六七二
多ルル水素添加ノ研究實驗		七三三	六四七	一八八九	〇一六	二六二二	六六三
航空燃料ノ研究實驗		七四五四	九七二	九六五九	七三七	一七一一四	七〇九
子イセル燃料ノ研究實驗		一〇三八四	八三五	七五一五	四三七	一七九〇〇	二七二
天然瓦斯ノ研究實驗		三六六五・〇四七				三六六五	〇四七
潤滑油ノ研究實驗		五四三九	九九一	二九三六	九五三	八三七六	九四四
各種代用燃料ノ研究實驗		一二六八	九六八	二五一七	六八九	三七八六	六五七
瓦斯ノ研究實驗		六四四	二六六	一四〇五	三〇二	二〇四九	五六八
石炭ノ研究實驗		一二〇	九五八	三九九	〇二六	五一九	九八四
混炭重油ノ研究實驗		九	九九〇	八六六	七一八	八七六	七〇八
燃料及潤滑油ノ使用 及貯藏研究實驗				一二七八	八〇二	一二七八	八〇二

Table with multiple columns and rows, mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side of the page.





(四) 昭和十二年度廠内委託製作並ニ修理費調

(1) 試験及研究費 (△印提供材料)

工事別	種別	製作	修理	改造	据付	移轉	雑修	計
石炭液化研究實驗		1150	625	△5489 6396	29227		55502	△5489 6396 2847
夕儿水素添加研究實驗		91150	1000	413			22220	11142
航空燃料研究實驗		735	366	1719	63812		30333	30333
夕儿燃料研究實驗		722	443	333	47716		773	773
天然瓦斯研究實驗								
潤滑油ノ研究實驗		△372 475	732	△47 385	139820		△372 475	119
各種代用燃料ノ研究實驗		26	090	23				49
瓦斯研究實驗		1529	770	1263	388	55760	1497	33391
								18



石炭ノ研究 實	混炭重油ノ 研究實驗	燃料及潤滑 油ノ使用及 貯藏研究實 驗	燃料及潤滑 油ノ規格及 試驗法研究 實驗	燃料ノ試驗 檢査	資源調査	工務倉庫	合計
一五四 四八六	一六二 一八三	二三四 六五〇	一〇九 九二三	一一八 七六〇	三二 五三八	△八五三 九〇八	△一二二六 一五三三六
三四六 一五六			二〇二 九〇四	△四四五 九一五		五七九 一〇九	△五九九三 一五五六五
							△七六三 五八三
							二六二 三二七
	四三 七九二		六八 二九九				一五 九六〇
							一五 四四〇
一五四 四八八	一四九 六九八	二三四 六六〇	一〇九 九〇六	△四四五 九三〇	三二 五三八	△八五三 七一九	△五二一九 三六九九五











(ウ) 昭和十二年度購入主要器具機械調

(一) 試験及研究費支辨(機械)

公稱番號	品名	金額	數量	製作所	能力寸法
一〇三六	小型貨物自動車	一四五〇〇〇〇	一	日産自動車株式會社	積載量六七〇斤
一〇六一	濾過機	六九五四〇〇〇	一	前田化學機械工業所	混合機ノ懸込容量七五〇立、同回轉數每分三五〇電源二二〇ボルト、同サイクル、パスケツト内徑五〇耗深サ二五〇耗同轉數(每分)一三〇〇
一〇六五	遠心分離機	三二一〇〇〇〇	一	日立製作所	攝氏五〇度壓力每平方糎一五〇斤、原料瓦斯每時五〇立ヲ處理ス
一〇六八	飽和炭化水素重合實驗裝置	八六六三六〇〇	一	西製作所	吐出側液位一〇米吐出量(每時)二立方米、口徑(出入徑共)一時二分、一方米口徑(出入徑共)一時
一〇七五	給油唧筒	九四〇〇〇〇〇	一	小美野製作所	吐出側液位一〇米吐出量(每時)二立方米、口徑(出入徑共)一時二分、一方米口徑(出入徑共)一時
一〇七六	硫酸唧筒	四八四〇〇〇〇	一	三和合金製作所	吐出側液位一〇米吐出量(每時)二立方米、口徑(出入徑共)一時

(二) 水陸整備費、機械費支辨(機械)

公稱番號	品名	金額	數量	製作所	能力寸法
一〇六二	起重機	一三三〇〇〇〇	一	田中機械製作所	主捲揚三噸 走行距離二五米

公稱番號	品名	金額	數量	製作所	能力寸法
八四八	低溫精密分溜試験器	195000	1	田中商事株式會社	ボドビールニヤツク型
八七四	高溫精密分溜試験器	204010	1		〃
八六五	給水管	20000	10間	廠内委託製作	
八七七	英文タイプライター	555000	1	丸善株式會社	
八七八	自記高溫計	744000	1	北辰電氣製作所	測溫範圍攝氏700度 記録箇所三箇所
八八四	瓦斯輸送管	1432070	七箇所	廠内委託製作	

(四) 試験及研究費支辨 (器具)

公稱番號	品名	金額	數量	製作所	能力寸法
1374	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル

(三) 受託研究費支辨 (機械)

公稱番號	品名	金額	數量	製作所	能力寸法
1375	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1376	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1377	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1378	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1379	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1380	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1381	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1382	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1383	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1384	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1385	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1386	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1387	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1388	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1389	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1390	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1391	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1392	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1393	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1394	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1395	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1396	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1397	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1398	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1399	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル
1400	水壓唧筒	266210	1	小美野鐵工所	吐出量毎時五立壓力毎平方糎五〇磅 電源三〇ボルト六〇サイクル



八八六	赤トスツト	三六四〇〇〇	一	北村式	
八八八	電氣制動力計	四九五〇〇〇	一	黒崎製作所	二五馬力
八八九	電氣制動力計	一七〇〇〇〇	一	"	一〇馬力
八九一	移動消火器	六五五〇〇〇	一	日本商會製 作所	二〇〇立入
九〇一	低溫精密分溜 試驗器	一五一〇〇〇	一	田中商事株 式會社	ボドビルニヤツク型
九〇二	自記低溫度計	八〇六六五〇	一	北辰電機製 作所	測溫範圍攝氏 $50^{\circ}$ 度 $-10^{\circ}$ 度 二點打型三度刻 $10^{\circ}$ 度ニ記入
九〇四	多式石炭低溫 乾溜模型	六六五〇〇〇	一	大阪模型製 作所	間口約一五米 高サ $0.8$ 米 (台英)
九〇五	多式石炭低溫 乾溜模型	六六五〇〇〇	一	"	"
九〇六	石炭液化裝置 模型	七二五〇〇	一	"	間口約一五米 奥行約一米 高サ約 $0.8$ 米
九二五	低溫精密分溜 試驗器	一五七八七八〇	一	島津製作所	ボドビルニヤツク型
九三〇	高溫計檢定裝 置	三二八九七四〇	一	北辰電氣製 作所	電位差計 電力 $0.1-6V$ 測定用最少目 盛 $1 \times 10^{-6}V$ 計り得ルモノ

九三二	電氣爐	五四五	〇〇〇	一	西製作所	最高溫度 600 度 使用電源 220 V 60 サイクル
九三三	"	五四五	〇〇〇	一	"	"
九三四	"	五四五	〇〇〇	一	"	"
九三五	"	五四五	〇〇〇	一	"	"
九四四	精密圖示積算電 力計	五九五	〇〇〇	一	田平作藏	使用電力電壓 220 V 60 サイクル 單 相交流積算計 目盛 0.01 K.W.H.
九四五	"	五九五	〇〇〇	一	"	"
九四六	"	五九五	〇〇〇	一	"	"
九五二	自記高溫計	一〇七六	〇〇〇	一	北辰電氣製 作所	測溫範圍攝氏 0-1000 度 六點記錄用埋込型
九五三	"	一〇七六	〇〇〇	一	"	"
九五四	"	一〇七六	〇〇〇	一	"	"
九五五	"	一〇七六	〇〇〇	一	"	"

九三二	電氣爐	五四五	〇〇〇	一	西製作所	最高溫度 600 度 使用電源 220 V 60 サイクル
九三三	"	五四五	〇〇〇	一	"	"
九三四	"	五四五	〇〇〇	一	"	"
九三五	"	五四五	〇〇〇	一	"	"
九四四	精密圖示積算電 力計	五九五	〇〇〇	一	田平作藏	使用電力電壓 220 V 60 サイクル 單 相交流積算計 目盛 0.01 K.W.H.
九四五	"	五九五	〇〇〇	一	"	"
九四六	"	五九五	〇〇〇	一	"	"
九五二	自記高溫計	一〇七六	〇〇〇	一	北辰電氣製 作所	測溫範圍攝氏 0-1000 度 六點記錄用埋込型
九五三	"	一〇七六	〇〇〇	一	"	"
九五四	"	一〇七六	〇〇〇	一	"	"
九五五	"	一〇七六	〇〇〇	一	"	"



(四) 受託研究費支辨 (器具)

公稱番號	品名	金額	數量	製作所	能力寸法
九三六	變壓器	五四一〇〇〇	一	大阪變壓器製造株式會社	出力三〇KV A型式單據單相 六〇サイクル自然冷却屋內据置 型電壓一次三〇〇V(一九〇V 三〇Vニ三〇Vニ三〇Vニ三〇V ニ次側〇Vヨリ三〇Vノ間ニ 毎ニ切替使用ノモノ
九三七	"	五四一〇〇〇	一	"	"
九三八	"	五四一〇〇〇	一	"	"
九三九	"	五四一〇〇〇	一	"	"

(五) 昭和十二年度各科別破損器具機械調

科別	金額	記	事
研究科	一四九五〇〇	固定資本器具機械ヲ含ム	ホツトスタツト、計算器、活動寫眞機等
實驗科	四三九〇九〇	一〇馬力石油發動機、 二五キロワット直流電動機等	三キロワット直流電動機 二五キロワット直流電動機等
合計	一五八八六三〇〇		

四 昭和十二年度研究實驗成績報告類發行  
 (1) 研究實驗成績報告 (普通)

發行番號	題 目	發行年月	主任研究實驗者
第一一九號	混合氣吸入溫度ノアンチノツク性 ニ及ボス影響ニ就テ	昭和十二年七月	海軍技師 秋田 磯谷 延 穰 技 生 杉 原 秀 夫
第一二〇號	純粹ナル炭化水素混合物ノ物理恒 數ノ變化ニ就テ	〃	海軍技師 山口 省 三 囑 託 三 井 啓 策
第一二二號	普通揮發油無水酒精混合燃料ニ關 スル實驗報告	〃	海軍技師 秋田 磯谷 延 穰 技 生 小 磯 西 谷 治 穰 同 和 田 武 治 男
第一二三號	C, E, R, Motor 法ニ依ル n-Paraffine オクタン價ニ 就テ	〃	海軍技師 秋田 磯谷 延 穰 海軍技師 杉 原 秀 夫



第一二三號	純炭化水素混合物ノオクタン價ニ就テ	昭和十二年八月	海軍技師 秋田 穰 海軍技師 磯谷 延治 海軍技師 杉原 秀夫
第一二四號	石炭完全ガス化ノ研究(第十二報) 乾溜加熱速度ガ各種石炭ノ生成ガ及性狀並ニ生成物收量ニ及ボス影響	同 年九月	海軍機關中佐 並河 孝 技 生 國 居 報 一
第一二五號	一〇〇以上ノ高オクタン價測定ノ標準試料ニ就テ	同 年十二月	海軍技師 秋田 穰

(四) 研究實驗成績報告 (秘)

第三〇號	分解揮發油ノ水素添加分解 (第一報)	昭和十二年七月	海軍技師 藤本 春季 技 生 高村 始
第三一號	日本産石油ノ水素添加分解 (第一報)	同 年十一月	海軍技師 山口 昌三 技 生 藤井 軍治 同 石田 權 一
第三二號	頁岩油ノ水素添加ニ就テ(第二報)	同	同

第三三號	耐爆性航空揮發油ニ關スル研究 第一報 配合用燃料ニ就テ	昭和十二年十二月	海軍技師 三井啓策
第三四號	同 第二報 精溜法ニ就テ	同	同
第三五號	日本産原油ノ水素添加分解 (第二報)	同 年十二月	海軍技師 山口昌三 技師 藤井權一
第三六號	混炭油ニ關スル研究	昭和十三年一月	囑託 板倉武雄 技師 室本滋吉 技師 八木元弘 技師 藤井武志
第三七號	アンスラセン油ノ水素添加分解ニ 就テ	同 年二月	海軍技師 山口昌三 技師 藤井權一
第三八號	ボルネオ揮發油貯藏實驗報告	同 年四月	海軍技師 秋田穰 海軍機關中佐 並河孝 海軍機關少佐 白石洋
第三九號	石炭ニ對スル水素量ノ液化ニ及ボ ス影響ニ就テ	同 年一月	海軍技師 三井啓策



(イ) 研究雜報

第四八號	石油ノ化學的精製法	昭和十二年五月	海軍技手 野村 敷 萩原 喜教
第四九號	重合揮發油ニ就テ	同 年六月	木村 猛
第五〇號	近代の分解蒸溜法	同 年七月	佐藤 運藏 石川 睦 市川 等
第五一號	石炭ノ膠質組織ノ研究	同 年九月	技 生 稻垣 勤
第五二號	石炭ヨリ水性ガス及合成ガスノ製造同	同 年十一月	同
第五三號	購入石炭及生産煉炭分析成績表 (昭和十一年度) 購入原油及生産重油輕油試驗成績表 (昭和十一年度)	昭和十三年一月	

(二) 摘 録

第三六號	液体燃料政策ノ實施現況ニ就テ	昭和十二年四月	海軍機關大佐 榎本隆一郎
第三七號	予エツコスロバキヤ産石炭ヨリ燃料ノ製造 石炭及油ノ水素添加生成物ノ比較 ダイ・イツプロピール・エーテルヨリ起ル爆發	向 年五月	海軍技師 稻垣 勤 市川 啓 策
第三八號	戰時ニ於ケル英國ノ液体燃料ノ供給 ICI水素添加法ノ經濟的價值 水素 添 加 瀝青炭ヨリノ抽出物ト残渣トノ關係	同 年七月	海軍技師 稻垣 勤 市川 榎
第三九號	水素添加生成物ヨリ觀タル瀝青炭ノ化學的組織 石炭ニ對スル有機溶劑ノ作用	同	海軍技師 三井啓策 同 佐藤運藏



第四〇號	石炭及褐炭ヨリ潤滑油ノ製造	同	年十月	清水三夫
第四一號	各國ニ於ケルアルコ―ル燃料政策 石炭ニ對スルアルカリノ作用 外誌ニ現レタル日本ノ燃料問題 航空燃料規格ノ現在及將來 石炭ノ組成及根源ニ就テ	同	年十一月	景平源 佐藤運藏 稲垣勸
第四二號	世界各國ニ於ケル石炭液化 高速飛行機用燃料 最近ノ炭化水素合成	昭和十三年一月		西沖開次 稻垣勸
第四三號	オレフィンノ重合ニ就テ 一酸化炭素ノ水素還元ニ依ル合成 液体燃料及メチルアルコ―ルトフ イツシヤ―油ニ就テ	同		清水三夫

(丙) 調査報告

第二四號	揮發油ニ就テ(其ノ六) 可成状態物質	昭和十二年六月	海軍技師 秋田 穰
第二五號	北支那ノ資源	昭和十三年一月	海軍機關中佐 並 河 孝 武 居 常 雄
號 外	石炭液化及水素添加關係特許類集 第一號	昭和十二年十月	
號 外	水素ノ製法及其ノ清淨等ニ關スル 特許類集 第二號	同	









海軍燃料廠研究部事務分掌表

部長

海軍少將

野村將

擔任區分

主任分組  
官氏名

判任官  
官氏名

技生  
氏名

工  
工牛機才

員  
一第 二第

職  
大 小

工務係

庶務工務

倉庫

圖書

伊崎真二

伊崎真二

伊崎真二

調査科

調査

後佐保永雄

清水天

清水天

清水天

清水天

製圖

同 町田理市

同 町田理市

同 町田理市

同 町田理市

同 町田理市

同 町田理市

燃料

同 山口昌三

同 山口昌三

同 山口昌三

同 山口昌三

同 山口昌三

同 山口昌三

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

燃料

同 藤本春彦

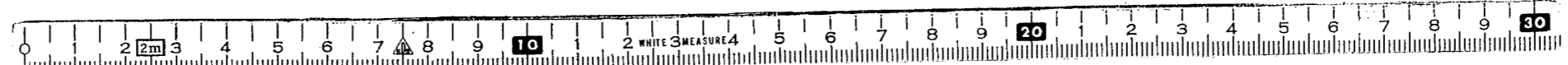
同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦

同 藤本春彦





備考	計	特別研究 事項	科		驗		實		科		究		研究	
			第一班	第二班	第一班	第二班	第一班	第二班	第一班	第二班	第一班	第二班	第一班	第二班
備考 (東) 下 凡 他 所 又 他 部 可 兼 務 者 示 又 勿 原 燃 料 概 於 此 制 油 並 且 研 究 之 期 久 且 事 項 隔 託 燃 料 研 究 事 務 隔 託 燃 料 工 作 學 的 研 究 隔 託 事 項 隔 託 每 軍 務 燃 料 研 究 隔 託 事 務 隔 託 安 藤 一 雄 大 島 義 清 小 松 茂 永 井 雄 三 郎	高 等 文 官 七 ( 內 兼 務 ) 高 等 文 官 九 ( 內 兼 務 ) 三 科 長 官 二	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉	藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉 藤 井 隆 吉



回判任官以上異動調

年 月 日	事 項	官 氏 名
昭和一二、四、一	研究部附兼製油部附ヲ免シ製油部附ヲ命ス 自今報酬年額千六百五拾圓ヲ給ス	技 手 土 井 茂
昭和一二、四、一	自今報酬年額千六百五拾圓ヲ給ス	囑 託 藤 本 春 季
昭和一二、四、一	自今報酬年額千參百圓ヲ給ス	囑 託 三 井 啓 策
昭和一二、四、六	補海軍燃料廠研究部部員 海軍燃料廠煉炭部部員兼研究部部員 機關少佐 有 本 寛	機 關 中 佐 並 河 孝 寛
昭和一二、四、一五	通常物品(教習所用品)取扱主任ヲ免ス	囑 託 板 倉 武 雄
昭和一二、四、二八	免 兼 官	海軍教授兼海軍技師 小 田 茂 雄
昭和一二、五、一	分解蒸溜工場係員ヲ命ス 九六式水添工場係員メ 補海軍航空本部技術部部員兼海軍航空廠發動機部部員 嘉納吉彦	技 手 高 橋 功 夫



昭和一一、七、一	任海軍技師 叙高等官六等	藤本春季
昭和一一、六、一二	兼補海軍省軍需局局員 海軍燃料廠研究部部員兼製油部部員	機關少佐 鈴木俊郎
"	退 廳	元 技手 田島悅郎
昭和一一、六、四	職務勉勵ニ付特ニ金六百拾八圓ヲ賞賜ス	技 手 田島悅郎
昭和一一、五、二六	依願免本官	技 手 田島悅郎
昭和一一、五、二五	總務部附兼研究部附ヲ命ス	機關特務少尉 岩國代助
昭和一一、五、二四	補臨時海軍防備隊附	機關特務中尉 中島 豪
"	實驗科(第三班、第五班)分擔ヲ命ス	技 生 御手洗 滋
昭和一一、五、一三	實驗科(第三班、第五班)分擔ヲ命ス	機關少佐 佐々木 正雄
昭和一一、五、一〇	研究部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	機關少佐 佐々木 正雄
昭和一一、五、七	着 任	機關少佐 佐々木 正雄
昭和一一、五、七	海軍燃料廠長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	吳鎮守府附 機關少佐 佐々木 正雄







昭和一二、 八、 六	海軍燃料廠所掌燃料研究業務ヲ囑託ス但シ	囑託山岡篤史
"	實驗科分擔ヲ命ス	書記近藤一士
"	兼補海軍燃料廠研究部部員	技手御手洗滋
昭和一二、 八、 二	兼補海軍燃料廠製油部部員	技手戸倉孝之
昭和一二、 七、 二〇	海軍燃料廠研究部部員兼製油部部員 海軍省軍需局局員 機關少佐 鈴木俊郎	技手町田理市
"	實驗科係員職務執行ヲ命ス	技師磯谷延治
"	"	技師藤本春季
昭和一二、 七、 一五	敍正七位	技師三井啓策
"	"	技師生遊逸律男
"	調査科係員ヲ命ス	技手
"	實驗科係員ヲ命ス	技手
"	工務係係員ヲ命ス	技手



昭和一一、八、二四	昭和一一、九、三〇	昭和一二、八、二四	昭和一二、八、二〇	昭和一二、八、一七	"	"	"	"	昭和一一、八、六	
試験係分擔ヲ免シ作業係係官(主トシテ試験班擔任)ヲ命ス	陸軍高等官四等	自今製油部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	兼補海軍燃料廠製油部部員	充員召集ノ爲歩兵第四十二聯隊ニ應召	天然瓦斯實驗所係員ヲ命ス	研究科係員兼實驗科係員ヲ命ス	實驗科係員ヲ命ス	海軍燃料廠所掌燃料研究作業ヲ囑託ス但シ報酬月額七拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テテシ	海軍燃料廠所掌潤滑油研究作業ヲ囑託ス但シ報酬月額八拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テテシ	報酬月額八拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テテシ
機關中佐 並河 孝	技師 山口 昌三	機關大佐 榎本 隆一郎	海軍燃料廠研究部部員 技師 藤本 春幸	技手 戸倉 孝之	囑託 山本 爲親	囑託 若菜 章	囑託 眞角 辰巳	山本 爲親	若菜 章	

昭和一二、一一、三一	燃廠達第七八號ニ依ルディーゼル重油規格改訂委員會委員ニ指定ス	機關大佐 榎本 隆一郎
"	兼研究部工務主任、兼實驗科分擔研究部工務主任ヲ免ス	機關中佐 並河 孝
"	命ス 研究部工務主任兼調査科主任、圖書主任ヲ	機關大佐 榎本 隆一郎
"	命ス 取扱主任ヲ免ス	機關中佐 並河 孝
昭和一二、一一、一八	通常物品（研究部用品）取扱主任ヲ命ス	機關大佐 榎本 隆一郎
昭和一二、一一、一〇	自今研究部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	囑 託 眞 角 辰 巳
昭和一二、一一、一	海軍燃料廠所掌燃料研究作業囑託ヲ解ク	囑 託 眞 角 辰 巳
"	敘 正 六 位	技 師 山 口 昌 三
"	"	技 師 景 平 一 雄
昭和一二、一〇、二	官房機密第三、三四一號訓令試験委員ニ指定セラレ	技 師 秋 田 穰
昭和一二、八、二四	瓦斯重合工場係官ヲ命ス	技 師 藤 本 春 季



昭和一二、一一、三一	燃廠達第七八號ニ依ルデイセル重油規格改訂委員會委員ニ指定ス	技師 秋田 櫻
"	"	技師 藤本 春季
"	同 右 委員附ニ指定ス	技師 磯谷 延治
昭和一二、一二、一	補海軍燃料廠研究部部員	技師 手坂 本貞彦
"	實驗科係員兼研究科係員ヲ命ス	技師 手坂 本貞彦
昭和一二、一二、八	補軍令部出仕兼支那方面艦隊司令部附、北平ニ出張ヲ命ス	海軍燃料廠研究部部員 機關大佐 榎本 隆一郎
"	補横須賀鎮守府出仕兼海軍省出仕	海軍燃料廠研究部部員兼製油部部員 機關中佐 並河 孝
"	補海軍燃料廠研究部部員	機關少佐 佐々木 正雄
昭和一二、一二、九	通常物品(研究部用品)取扱主任ヲ免ス	機關大佐 榎本 隆一郎
"	通常物品(研究部用品)取扱主任ヲ命ス	書記 近藤 一士
"	燃廠達第七八號ニ依ルデイセル重油規格改	機關大佐 榎本 隆一郎





昭和二三、二、一五	補横須賀鎮守府出仕兼海軍燃料廠出仕	海軍燃料廠研究部員 師藤尾 誓
"	"	嘱託 若菜 章
"	"	技手 町田 理市
"	"	書記 近藤 一士
"	"	技手 坂本 貞彦
"	昭和十三年臨時海軍労働統計實施調査係員 補助ヲ命ス	技手 御手洗 滋
"	昭和十三年臨時海軍労働統計實施調査係員 ヲ命ス	機關少佐 佐々木 正雄
昭和二三、一、一五	昭和十三年臨時海軍労働統計實施調査係長 補助ヲ命ス	少將 野村 將三
"	研究部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	機關特務中尉 林 庄太郎
昭和二三、一、一四	敍勳六等授瑞寶章	從六位 江口 孝
昭和二三、二、二〇	海軍燃料廠ニ於ケル研究事務囑託ノ報酬ト シテ金百圓ヲ贈與ス	嘱託 大島 義清

昭和二三、三、一四	海軍燃料廠所掌業務ヲ囑託ス但シ報酬月額七拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル	横須賀海軍工廠造機部業務囑託 田中祐一
昭和二三、三、一五	兼補海軍燃料廠製油部部員	海軍燃料廠研究部部員 山口昌三
"	特殊藥製造裝置建設主任補佐官ヲ命ス	技師 山口昌三
"	潤滑油製造裝置建設主任補佐官ヲ命ス	技師 景平一雄
昭和二三、三、二八	瓦斯重合裝置建設主任補佐官ヲ命ス	技師 藤本春季
"	海軍燃料廠研究部ニ於ケル業務ヲ囑託ス但シ報酬額千百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス	囑託 若菜章
昭和二三、三、三一	研究科分擔兼實驗科分擔ヲ命ス	囑託 若菜章
"	賜五級俸	技師 山口昌三
"	賜六級俸	技師 江口孝
"	賜六級俸	技師 景平一雄



昭和二三

三三一

給六級俸

按手坂本貞彦





氏名	職名	日給	由	事	年月日
中川貞治		四五		見習職工ニ備入	昭和二三四一
藤田良雄		四五		"	"
倉掛鏡光		四五		"	"
柳敏道		四五		"	"
岡村博		四五		"	"
松村一男		四五		"	"
赤松操		四五		"	"
藤井義人		四五		"	"
大迫康治		四五		"	"
田中喜芳		四五		"	"
堀江弘道	見習職工	一五		見習職工成業ニ付實驗工ニ採用	"
松永三男	"	一五		"	"
兼重鐵雄	"	一五		"	"

昭和二三四一	見習職工ニ備入	四五	中川貞治
"	"	四五	藤田良雄
"	"	四五	倉掛鏡光
"	"	四五	柳敏道
"	"	四五	岡村博
"	"	四五	松村一男
"	"	四五	赤松操
"	"	四五	藤井義人
"	"	四五	大迫康治
"	"	四五	田中喜芳
"	見習職工	一五	堀江弘道
"	"	一五	松永三男
"	"	一五	兼重鐵雄

昭和一二四一	見習職工成業ニ付實驗工ニ採用	三學年ニ進學	見習職工晉約期間滿了	一	五五	實驗工	三牧朝一
"	"	"	"	一	五〇	"	佐古勇
"	"	"	"	一	五〇	"	原田勳
"	"	"	"	一	五五	"	中村瀧一
"	"	"	"	一	五五	"	倉橋義男
"	"	"	"	一	五五	"	松本利英
"	"	"	"	一	五〇	"	村本 薫
"	"	"	"	一	五〇	"	木村元夫
"	"	"	"	一	五〇	"	岩崎橋一
"	"	"	"	一	五〇	"	平原克巳
"	"	"	"	一	五〇	"	山本 寛
"	"	"	"	一	五〇	"	深町 清
"	"	"	"	一	五〇	"	内山滿二郎
"	"	"	"	一	五五	"	市川 睦

昭和一二四二	見習職工成業ニ付實驗工ニ採用	三學年ニ進學	見習職工晉約期間滿了	一	五五	實驗工	三牧朝一
"	"	"	"	一	五〇	"	佐古勇
"	"	"	"	一	五〇	"	原田勳
"	"	"	"	一	五五	"	中村瀧一
"	"	"	"	一	五五	"	倉橋義男
"	"	"	"	一	五五	"	松本利英
"	"	"	"	一	五〇	"	村本 薫
"	"	"	"	一	五〇	"	木村元夫
"	"	"	"	一	五〇	"	岩崎橋一
"	"	"	"	一	五〇	"	平原克巳
"	"	"	"	一	五〇	"	山本 寛
"	"	"	"	一	五〇	"	深町 清
"	"	"	"	一	五〇	"	内山滿二郎
"	"	"	"	一	五五	"	市川 睦

















昭和一二四二一	總務部へ所屬變更	二二〇	刷版工伍長	兼重太郎
"	"	二〇五	刷版工	橋高精市
"	"	一八〇	"	末光準一
"	"	一六〇	"	松本豊作
"	"	一六〇	"	中村一夫
昭和一二四二四	實驗工ニ試傭入	一三五	"	藤井良雄
昭和一二四二七	煉炭部附ヨリ所屬變更	二一五	"	岡田開次
"	"		技 生	渡邊正壽
昭和一二四三一	總務部附へ所屬變更	七〇二五	"	江村信一
昭和一二四三一	製油部附へ所屬變更	七六六〇	"	堀岡敦雄
"	"	七四五〇	"	山本正雄
"	"	六八五〇	"	橋高彌一
"	"	五七二五	"	新庄盈一
"	"		"	山本 甲

昭和一二四二一	總務部へ所屬變更	二二〇	刷版工伍長	兼重太郎
"	"	二〇五	刷版工	橋高精市
"	"	一八〇	"	末光準一
"	"	一六〇	"	松本豊作
"	"	一六〇	"	中村一夫
昭和一二四二四	實驗工ニ試傭入	一三五	"	藤井良雄
昭和一二四二七	煉炭部附ヨリ所屬變更	二一五	"	岡田開次
"	"		技 生	渡邊正壽
昭和一二四三一	總務部附へ所屬變更	七〇二五	"	江村信一
昭和一二四三一	製油部附へ所屬變更	七六六〇	"	堀岡敦雄
"	"	七四五〇	"	山本正雄
"	"	六八五〇	"	橋高彌一
"	"	五七二五	"	新庄盈一
"	"		"	山本 甲



昭和二三 五二一	職夫ヨリ職工ニ轉備	一三五	實驗工	岩崎建二
昭和二三 五一七	"	一三五	實驗工	福谷懷德
"	"	一五五		弘中滿一
昭和二三 五一五	職夫(實驗工)ニ備入	一五五		弘中熊一
昭和二三 五一四	實驗工ニ本備入	二一五	實驗工	岡田開次
"	"			小澤一雄
"	"			山田隆信
"	"			今住信雄
昭和二三 四二一	總務部附ニ所屬變更		技 生	原寅市
"	"	一三五		金子利一
"	"	一六五		弘中顯
昭和二三 五二七	職夫(實驗工)ニ備入	一六五		野村春一
昭和二三 五二六	不健康解備	一六〇	實驗工	原田梅雄

昭和二三 五二七	職夫(實驗工)ニ備入	一六五		野村春一
昭和二三 五二六	不健康解備	一六〇	實驗工	原田梅雄
昭和二三 五二五	職夫(實驗工)ニ備入	一六五		金子利一
昭和二三 五二四	實驗工ニ本備入	二一五	實驗工	岡田開次
昭和二三 五一七	"	一三五	實驗工	福谷懷德
昭和二三 五一五	職夫(實驗工)ニ備入	一五五		弘中熊一
昭和二三 五一四	實驗工ニ本備入	二一五	實驗工	岡田開次
昭和二三 四二一	總務部附ニ所屬變更		技 生	原寅市
昭和二三 五二一	職夫ヨリ職工ニ轉備	一三五	實驗工	岩崎建二







昭和二一六二一	製油部へ所属變更	一	三〇	職大(實驗員)	月山大於
昭和二一六二八	職夫(製圖員)ニ傭入	一	二五		五百木三摩地
昭和二一七一	技生ヲ命シ月給六拾七圓五拾錢ヲ給ス	二	七〇	實驗工手	竹原公太郎
"	"	二	七〇	"	遊免律男
"	五拾參圓七拾五錢ヲ給ス	二	一五	二等實驗員	木村猛
"	"	二	一五	"	笠本孝
"	"	二	一五	"	佐藤選敬
"	"	二	一五	二等記錄員	稻垣勤
"	"	二	一五	"	清水三夫
"	"	二	一五	二等實驗員	岡田闕次
"	"	二	一五	"	宮崎正雄
"	五拾貳圓五拾錢ヲ給ス	二	一〇	分析職手	高橋松之助
"	"	二	一〇	實驗職手	藤井武志
"	五拾壹圓貳拾五錢ヲ給ス	二	〇五	"	西田安吉



昭和二二 八五	職夫 (實驗員)ニ備入	一 二五		大木 滿樹
"	"	一 二五	二等製圖員	五百木 三慶地
"	"	一 三〇	"	椎木 三郎
"	"	一 三〇	"	原田 登
"	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 三五	"	梅本 守人
"	依願解備	九五	"	佐伯 勝美
昭和二二 六二	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 三五	"	佐々木 重晴
昭和二二 六一	實驗職手ヲ命ス	三 二五	二等實驗員	檀田 一郎
昭和二二 六一	職夫(記錄員)ニ備入	八五		山縣 晶子
"	"		"	近藤 一士
"	"		"	町田 理市
"	"		"	御手洗 滋
"	"		"	戸倉 孝之
昭和二二 七一	身分變更		技 生	萩原 基衛





昭和二三 九二八	職夫(實驗員)ニ備入	一 五〇	見習工員	河村武彦
昭和二三 九二八	實驗員ニ本備入	二 一五	見習工員	渡邊哲夫
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	藤井米一
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 一五	見習工員	片山謙治
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 二五	見習工員	不動次郎
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	賀古正夫
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 一五	見習工員	林織夫
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 二五	見習工員	藤田文平
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	藤井實一
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 二五	見習工員	大木滿樹
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	松本利英
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	倉橋義男
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	中村瀧一
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	原田勲

昭和二三 九二八	職夫(實驗員)ニ備入	一 五〇	見習工員	河村武彦
昭和二三 九二八	實驗員ニ本備入	二 一五	見習工員	渡邊哲夫
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	藤井米一
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 一五	見習工員	片山謙治
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 二五	見習工員	不動次郎
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	賀古正夫
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 一五	見習工員	林織夫
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 二五	見習工員	藤田文平
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	藤井實一
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 二五	見習工員	大木滿樹
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	松本利英
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	倉橋義男
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	中村瀧一
昭和二三 九二八	職夫ヨリ工員ニ轉備	一 〇〇	見習工員	原田勲





昭和二二〇三〇	依願解備	一	二五	二等實驗員	大脇次
"	依願解備	一	八五	二等分析員	不破勝澄子
昭和二二〇二七	職夫(實驗員)ニ傭入	一	三五		川崎忠雄
昭和二二〇二五	私傷病解備	一	四五	二等實驗員	明穗登
昭和二二〇二四	"	一	二五		寺田敬之
昭和二二〇二七	職夫(實驗員)ニ傭入	一	〇五		戸倉保
昭和二二〇二六	依願解備	二	二〇	二等實驗員	速司哲雄
昭和二二〇一九	"	一	〇五		前田健一
"	"		八〇		佐伯潔
"	"	一	〇五		中山岩雄
"	"		九〇		宮田旭
"	"	一	二五		永宗周一
"	"	一	一〇		野村新治
昭和二二〇二八	職夫(實驗員)ニ傭入		七〇		原田鶴信

昭和二二〇二九	職夫(實驗員)ニ傭入	一	〇五		前田健一
"	"		八〇		佐伯潔
"	"	一	〇五		中山岩雄
"	"		九〇		宮田旭
"	"	一	二五		永宗周一
"	"	一	一〇		野村新治
昭和二二〇二八	職夫(實驗員)ニ傭入		七〇		原田鶴信





昭和二二二二二	職夫ヨリ工員ニ轉備	一	九〇	官田旭
"	"	一	九〇	藤井米一
"	"	一	九〇	藤井誠
"	"	一〇五	〇五	戸倉保
"	"	一〇五	〇五	前田健一
"	"	一〇五	〇五	吉本橋郎
"	"	一〇五	〇五	末岡茂
"	"	一〇五	〇五	河村武彦
"	"	一〇五	〇五	山本等
"	"	一〇五	〇五	中山岩雄
"	"	一〇五	〇五	徳原芳美
"	"	一〇五	〇五	川本毅
"	"	一〇五	〇五	重國勇夫
"	"	一一〇	〇	野村新治
	二等實驗員			

昭和二二二二二	職夫ヨリ工員ニ轉備	一	九〇	官田旭
"	"	一	九〇	藤井米一
"	"	一	九〇	藤井誠
"	"	一〇五	〇五	戸倉保
"	"	一〇五	〇五	前田健一
"	"	一〇五	〇五	吉本橋郎
"	"	一〇五	〇五	末岡茂
"	"	一〇五	〇五	河村武彦
"	"	一〇五	〇五	山本等
"	"	一〇五	〇五	中山岩雄
"	"	一〇五	〇五	徳原芳美
"	"	一〇五	〇五	川本毅
"	"	一〇五	〇五	重國勇夫
"	"	一一〇	〇	野村新治
	二等實驗員			







昭和一二一ニ	一等實驗員ヲ命ス			福田 稔
"	"			伊賀崎 豊
"	"			南場 清一
"	"			末光 敏文
"	一等記録員ヲ命ス			武居 常雄
"	一等實驗員ヲ命ス			國廣 武雄
"	"			中村 政夫
"	"			池上 勇一
"	一等製圖員ヲ命ス			原田 隆
昭和一二一ニ	職夫ヨリ工員ニ轉備	一〇五	二等實驗員	今井 榮
"	"	八五	二等雜工員	三浦 カメヨ
昭和一二一ニ	技生ヲ命シ月給五拾參圓七拾五錢ヲ給ス	二一五	一等實驗員	賀古 正夫
"	五拾壹圓貳拾五錢ヲ給ス	二〇五	一等記録員	西村 敬太
"	五拾圓ヲ給ス	二〇〇	一等實驗員	本居 昇

昭和一二一ニ	二等實驗員			福田 稔
"	"			伊賀崎 豊
"	"			南場 清一
"	"			末光 敏文
"	二等記録員			武居 常雄
"	二等實驗員			國廣 武雄
"	"			中村 政夫
"	"			池上 勇一
"	二等製圖員			原田 隆
昭和一二一ニ	二等實驗員	一〇五		今井 榮
"	二等雜工員	八五		三浦 カメヨ
昭和一二一ニ	一等實驗員	二一五		賀古 正夫
"	一等記録員	二〇五		西村 敬太
"	一等實驗員	二〇〇		本居 昇





昭和二三二二七	備入期間滿了	一	二二五	職夫實驗員	渡邊哲夫
昭和二三二二八	職夫(實驗員)ニ備入	一	二二五		吉富英行
昭和二三二二九	職夫ヨリ工員ニ採用	一	二二五	二等實驗員	内山 要
		一	二二五	二等記錄員	宇佐川 武
			九五	二等雜工員	清水 數雄
昭和二三二二一	横須賀海軍航空廠ヨリ轉備(實驗部)ニ		五五	實驗工手	坂本 忠一
			八五	二等實驗員	長島 萬子
昭和二三二二二		一	〇〇		島 美恵
昭和二三二二三	不健康解備	一	六五		野村 春一
昭和二三二二四	私傷病解備	一	四五	二等分析員	神本 梅次
昭和二三二二五	製油部ヨリ所屬變更	一	六五	二等製圖員	田中 豊作
		一	三五	二等實驗員	高橋 次郎
	徴兵入營ノ爲解雇			技 生	清水 三夫
	兵役解備	一	四〇	二等實驗員	村川 正

昭和二三二二六	職夫(實驗員)ニ備入	一	二二五	職夫實驗員	渡邊哲夫
昭和二三二二七	職夫ヨリ工員ニ採用	一	二二五	二等實驗員	内山 要
昭和二三二二八		一	二二五	二等記錄員	宇佐川 武
昭和二三二二九		一	九五	二等雜工員	清水 數雄
昭和二三三〇〇	横須賀海軍航空廠ヨリ轉備(實驗部)ニ		五五	實驗工手	坂本 忠一
昭和二三三〇一			八五	二等實驗員	長島 萬子
昭和二三三〇二		一	〇〇		島 美恵
昭和二三三〇三	不健康解備	一	六五		野村 春一
昭和二三三〇四	私傷病解備	一	四五	二等分析員	神本 梅次
昭和二三三〇五	製油部ヨリ所屬變更	一	六五	二等製圖員	田中 豊作
昭和二三三〇六		一	三五	二等實驗員	高橋 次郎
昭和二三三〇七	徴兵入營ノ爲解雇			技 生	清水 三夫
昭和二三三〇八	兵役解備	一	四〇	二等實驗員	村川 正



昭和二三 一三九	依願解備		九〇	二等實驗員	藤井 誠
昭和二三 一四〇	職夫(雜工員)ニ採用		九五		末光 忠男
昭和二三 一四一	依願解雇			技 生	原 田 貞
"	"	一	四五	"	本 橋 豊
"	"	一	五〇	"	小 川 五六
"	"	一	三五	二等記録員	吉 田 謬 雄
"	"	一	七五	一等實驗員	佐久間 榮 助
"	"	一	七五	一等分析員	由 良 颯
"	"	一	九〇	一等實驗員	梶 原 秀 作
"	"	二	二五	實驗工手	中 村 政 任
"	横須賀海軍航空廠ヨリ轉備	二	七〇	一等選轉員	佐久間 徹次郎
"	"	一	三〇	"	青 木 茂 實
"	"	一	四〇	"	田 村 省 吾
昭和二三 一四〇	兵役解備	一	三〇	二等實驗員	椎 木 喜 代 人

昭和二三 一四一					
昭和二三 一四二					
昭和二三 一四三					
昭和二三 一四四					
昭和二三 一四五					
昭和二三 一四六					
昭和二三 一四七					
昭和二三 一四八					
昭和二三 一四九					
昭和二三 一五〇					

昭和二三二四	依願解雇		八五	技 生	八木元弘
"	"	製油部ヨリ所屬變更(實驗部要員)	一五〇	二等記録員	山本宗雄
"	"	總務部ヨリ所屬變更(實驗部要員)	一六五		吉岡 梅太郎
昭和二三二	私傷病解備			二等實驗員	笹野 幸男
"	依願解雇			技 生	久保田 正
昭和二三一	"		五〇		河村 悟作
"	"		五〇		山縣 敦馬
"	"		五〇		藤井 英久
昭和二三一	"		九五		岩本 勝美
"	"	(雜工員)	九五		末光 忠男
昭和二三一	職夫ヨリ臨時工員(實驗員)		二五		石崎 信一
昭和二三一	依願解雇			技 生	吉富 英行
					笠木 孝

昭和二三一	依願解雇				笠木 孝
昭和二三一	職夫ヨリ臨時工員(實驗員)		二五		吉富 英行
昭和二三一	"		九五		石崎 信一
昭和二三一	"	(雜工員)	九五		末光 忠男
昭和二三一	"		五〇		岩本 勝美
昭和二三一	"		五〇		藤井 英久
昭和二三一	"		五〇		山縣 敦馬
昭和二三一	依願解雇			技 生	河村 悟作
昭和二三二	私傷病解備			二等實驗員	久保田 正
昭和二三二	"				笹野 幸男
昭和二三二	"	總務部ヨリ所屬變更(實驗部要員)	一六五		吉岡 梅太郎
昭和二三二	"	製油部ヨリ所屬變更(實驗部要員)	一五〇	二等記録員	山本宗雄
昭和二三二	依願解雇		八五	技 生	八木元弘



昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	昭和一三三	
				昭和一三三 三二五	昭和一三三 三一四	昭和一三三 三一五	昭和一三三 三一四	昭和一三三 三一四		昭和一三三 三一〇	昭和一三三 三一三	昭和一三三 三一	
				實驗員ニ試備入	實驗員ニ試備入	依願解備				空廠ヨリ實驗部委員トシテ轉備		實驗部委員トシテ記録員ニ試備入	
一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	
二五	二五	二五	三〇	三〇	一五	五五	九五	八〇	七五	六〇	七〇	八〇	三〇
								二等運輸員		二等實驗員			
田口正夫	勝部武文	岩淵泰郎	多田博	堀尾信哉	藤田光	三谷勇章	小林利一	齋院恒彌	渡邊友之助	酒井博文	手塚介	水野光一郎	沼尻善三





昭和一 三 三 一	"	一 七 〇	"	手塚 介
昭和一 三 三 二	"	一 八 〇	"	水野 光二 郎
昭和一 三 三 一	本備入(實驗部要員)	一 三 〇	二等記録員	沼尻 善三
"	期間滿了ニ依リ解備	五 〇	臨時工員 (雜工員)	岩本 勝美
昭和一 三 三 一	實驗員ニ試備入	一 三 〇	"	藤 忠 範
昭和一 三 三 七	依願解備	一 一 〇	二等實驗員	中川 竹次
"	雜工員ニ試備入	五 〇	"	岡村 數馬
"	"	八 〇	"	國弘 ミリ
昭和一 三 三 八	記録員ニ試備入	八 〇	"	原田 千枝 子
"	"	二 一 五	"	渡邊 清
昭和一 三 三 六	實驗員ニ試備入	二 一 五	"	井上 敏明
昭和一 三 三 五	依願解備	八 五	二等記録員	山崎 淑枝

昭和一 三 三 一	"	一 七 〇	"	手塚 介
昭和一 三 三 二	"	一 八 〇	"	水野 光二 郎
昭和一 三 三 一	本備入(實驗部要員)	一 三 〇	二等記録員	沼尻 善三
"	期間滿了ニ依リ解備	五 〇	臨時工員 (雜工員)	岩本 勝美
昭和一 三 三 一	實驗員ニ試備入	一 三 〇	"	藤 忠 範
昭和一 三 三 七	依願解備	一 一 〇	二等實驗員	中川 竹次
"	雜工員ニ試備入	五 〇	"	岡村 數馬
"	"	八 〇	"	國弘 ミリ
昭和一 三 三 八	記録員ニ試備入	八 〇	"	原田 千枝 子
"	"	二 一 五	"	渡邊 清
昭和一 三 三 六	實驗員ニ試備入	二 一 五	"	井上 敏明
昭和一 三 三 五	依願解備	八 五	二等記録員	山崎 淑枝











八昭和十二年度講演並ニ雜誌會調  
 (1) 部内講演

同次	施行年月日	題	目	講演者
	昭和一二、七、一三	石炭ノ熱變化ニ就テ		囑託 萩原基衛
		重合揮發油ニ關スル研究ニ就テ		技師 藤本春季
		オハ原油分類ノ研究ニ就テ		囑託 小松 茂
		揮發油ノオクタン價ニ就テ		囑託 小松 茂
	八、二六	イソプロピルエーテルノ合成ニ就テ		技師 山口昌三
		瓦斯狀炭化水素ノ製造ニ就テ		囑託 山岡篤史
	二、四	タール水素添加ニ關スル研究		技師 山口昌三

(四) 部外講演

場	所	講演年月日	題	目	講演者
德山海軍共濟組合會館 (工化九州支部常會)	昭 和	二 三 三 二	最近ノ燭逸ニ於ケル燃料工業ニ就テ	機關中佐 横田俊雄	機關中佐 横田俊雄
東京市 (工業化學會)	"	"	分解揮發油ノ水素添加ニ就テ	機關中佐 横田俊雄	機關中佐 横田俊雄
大阪帝大 (工業化學會)	"	二 三 四 一	石炭完全瓦斯化ノ研究(第十二報) 乾溜加熱速度ガ各種石炭ノ生成瓦斯 性狀竝ニ生成物收量ニ及ボス影響	機關中佐 並河孝	機關中佐 並河孝
"	"	"	罐ノ震動燃焼ニ就テ	技手 磯谷延治	技手 磯谷延治
延岡市 (工化九州支部大會)	"	"	混炭油ニ關スル研究	囑託 板倉武雄	囑託 板倉武雄
"	"	二 三 二 七	航空燃料品質ニ關スル最近ノ趨勢	技師 秋田櫻	技師 秋田櫻



(ハ) 特殊講演

場 所	講 演 年 月 日	題 目	講 演 者
研究部講演室	昭和 一三二〇二	化學工學下化學工業ニ就テ	東京工業大學 教授 内田 俊一
"	一三二〇二八	炭化水素ノ液化ニ就テ	東北帝大 教授 青山 新一
"	一三二一八	フイツシャー式合成石油法ニ就テ	三井礦山株式會社 技師 竹井 政夫

(二) 雜誌會

回数	施行年月日	題 目	講 演 者
九八	昭和 一二四 五	石炭及油ノ水素添加生成物ノ比較 エチレンノ接觸的重合ニ就テ 瓦斯狀パラフィン系炭化水素ノ硝化ニ就テ 炭化水素ノ發熱量ニ就テ 比重屈折率ノ測定ニ依ル揮發油ノ分析 プロピレンノ重合ニ就テ 石炭ノ層狀性分ノ比重分離ニ就テ 國產マダネシウム製造法ニ就テ 揮發油ノ有用ナル性質ノ一ニ就テ 炭化水素類ノアニリンポイントニ就テ 壓縮瓦斯中ノ水蒸氣ノ濃度ニ就テ	實驗員 市川 陸 三原正博 高橋松之助 囑託 藤本春季 實驗員 石田 藏 實驗員 岩本武雄 藤井武志 技 生 玉野 薫 技 師 秋 田 穰 實驗員 西村 等 實驗員 秋 貞 利 宣
一〇〇	六一四		



			101		
			七五		
水性瓦斯接觸法ニ依ル水素ノ製造ニ就テ	高壓装置ノ保溫ニ就テ	英國ニ於ケル最近ノ研究二・三ニ就テ	重合揮發油製造用原料瓦斯ニ就テ	觸媒法ニ依ル重合揮發油ノ製造	分解揮發油ト重合揮發油ノ分溜ニ就テ
技師 國居 報一	技手 高橋 功夫	技師 江口 孝	宮崎 正雄	伊ヶ崎 作一	岩崎 生駒
					溶劑精製法ニ就テ
					技師 景平 一雄

特許調

特許年月日	特許番號	名	稱	發明者
大正二〇二二	四三七五八	石炭ヨリ液狀燃料ヲ製造スル方法		下田健市
一四九二〇	六五六一	動植物油脂ノ石油化ト油頁岩ノ乾溜トヲ同時ニ行フ方法		下田健市
一五七七八	六八八五六	油頁岩ノ乾溜法ニ於ケル改良		丸山猛
昭和二二一一	七〇七四〇	硫黄ヲ含有セザルメフサリンヲ製造スル方法		下田健市
二二二四	七〇八〇四	油類脫水方法		藤尾馨
二八二六	七三一七	引火點高ク且粘度小ナル變壓器油ノ製造法		小川亨
四二一八	七九八九八	石油ピツチノ精製法		別府良三
四三七	八〇八四二	石炭液化方法		宮田吉郎
四三一五	八〇九二八	船底塗料製造法		小川亨
四六五	八二〇一五	酒精變性法		別府良三
				江口孝
				松尾直士



昭和 四七二六	八二五八〇	ダタン瓦斯ヨリ水素及一酸化炭素ヲ製造スル方法	藤尾 誓
四九二一	八三一九八	潤滑油ノ性質ヲ優良ナラシムル方法	下田 健市
五〇〇二	八八五六五	石炭ノ乾溜方法	並河 孝 島村 浩
五二二八	八八九〇五	石炭タール瀝油等ヲ重要ナル液狀生成物ニ變ズル方法	横田 俊雄
五三三四	九五一四〇	炭化水素ヨリ水素ヲ製造スル方法	横田 俊雄
五五二六	九五九七四	水素及一酸化炭素含有瓦斯ヨリメチルアルコール合 成用觸媒ノ製法	江口 孝
五六二九	九六四六一	石炭類ヲ有用ナル液体ニ變化スル方法	小川 亨 高橋 功夫
五七二六	九六六五一	頁岩油重油石炭タール及其等ノ蒸溜生成分ヨリエチ レン瓦斯ヲ製造スル方法	藤本 春季
五七二九	九六七七一	石炭タール・ピツチ・アスファルト及之ニ類スル瀝 青物質等ヨリ重要ナル液体炭化水素ヲ製造スル方法	山口 昌三





昭和八年五月一〇二八五〇	(秘密特許)	石炭液化方法	小川 亨
八七七一〇一九九九	(秘密特許)	石炭完全瓦斯化ニ於ケルタールノ分解方法	高橋 功夫
八〇七七一〇三四七	(秘密特許)	石炭完全瓦斯化方法	並河 孝
八二四〇一〇三三二	(秘密特許)	高壓塞止弁	並河 孝
一〇三九九二五	(秘密特許)	合成メタンノ蒸溜法ノ改良	横田 俊雄
九四二一〇五五八八	(秘密特許)	炭酸瓦斯及炭化水素瓦斯ノ分解方法	田島 悦郎
九六二五二〇六五七二	(秘密特許)	メタンノ合成用反應筒外熱装置	江口 孝
九二〇四一〇九六三	(秘密特許)	アセチレンヨリベンゾール・トルオール等ノ芳香族炭化水素ノ合成方法	並河 孝
九二一一一〇八三一	(秘密特許)	石炭類又ハコークス等ヨリ得タル瓦斯ノ完全脱硫法	藤尾 誓
			江口 孝





昭和12年5月	11072118	メタンヨリヂホルマルパーオキシッドヒドライトノ製造法	藤本春季
107313	11172114	混炭油製造法	住本誠治
101219	11352110	四エチル鉛安定劑	山口昌三
101216	11372115	自動減壓唧筒裝置	石田権一
101211	11082111	石炭瀝又ハノールタス等ヨリ得タル瓦斯ノ安全脱硫法	横田俊雄
111219	11622116	電氣加熱裝置	横田俊雄
111213	11672115	水素添加蒸溜方法	横田俊雄
111213	11672116	高壓高温用端子製造方法	横田俊雄

昭和12年5月	11072118	メタンヨリヂホルマルパーオキシッドヒドライトノ製造法	藤本春季
107313	11172114	混炭油製造法	住本誠治
101219	11352110	四エチル鉛安定劑	山口昌三
101216	11372115	自動減壓唧筒裝置	石田権一
101211	11082111	石炭瀝又ハノールタス等ヨリ得タル瓦斯ノ安全脱硫法	横田俊雄
111219	11622116	電氣加熱裝置	横田俊雄
111213	11672115	水素添加蒸溜方法	横田俊雄
111213	11672116	高壓高温用端子製造方法	横田俊雄





備考	昭和三三	一四〇七六	メタン・エタン等ノ炭化水素瓦斯ヨリアセチレンヲ製造スル方法	藤尾 誓
	一四〇七六	追加特許		
	一四三〇六	(秘密特許)	混炭油製造法(其ノ六)	有本 寛
一二二九九	(秘密特許)	高オクタン價揮發油製造法	板倉 武雄	山口 昌三
特許出願中ノモノハ掲記セズ				





昭和十二年度主要記事調

年 月 日	事 項
昭和一二、四、二	部長室ニ於テ江口技師任務報告アリ
四、五	勅令第五百五號ヲ以テ燃料廠令改正
四、六	達第四十三號ヲ以テ燃料廠處務規程改正
四、七	制度改正ニ伴ヒ工場及所ノ所屬ヲ左ノ通變更 總務部ニ移管ノモノ 印刷所 製油部ニ移管ノモノ マタノール工場 水性瓦斯關係諸裝置
四、九	軍需局長 氏家中將來部
四、二三	海軍兵學校長 出光中將來部
四、二一	航空本部長 及川中將來部
四、二六	研究指導ノ爲小松囑託來廠
四、二七	靖國神社臨時大祭

昭和二三、	五、二	本日ヨリ一週間健康週間實施
	五、四	投生山本爲親、實驗工三谷勇章台灣海軍天然瓦斯實驗所ニ於テ公傷
	五、六	廣島高等工業學校選科生選衡試驗施行
	五、一	軍令部出仕佐藤(脩)少將來部
		艦政本部長 上田中將來部
		軍令部次長 嶋田中將來部
		佐世保防備戰隊司令官 鈴木少將來部
	五、一三	東京在勤獨國大使館附海軍武官ウエネカ大佐來部
	五、一五	於部長室職工昇給會議開催
	"	囑託永井雄三郎事務打合ノ爲來部
	五、一六	海軍次官 山本中將來部
	五、一七	經理局長 村上主計中將來部
	"	囑託永井雄三郎來部

昭和二三、

五、二

本日ヨリ一週間健康週間實施

五、四

投生山本爲親、實驗工三谷勇章台灣海軍天然瓦斯實驗所ニ於テ公傷

五、六

廣島高等工業學校選科生選衡試驗施行

五、一

軍令部出仕佐藤(脩)少將來部

艦政本部長 上田中將來部

軍令部次長 嶋田中將來部

佐世保防備戰隊司令官 鈴木少將來部

五、一三

東京在勤獨國大使館附海軍武官ウエネカ大佐來部

五、一五

於部長室職工昇給會議開催

"

囑託永井雄三郎事務打合ノ爲來部

五、一六

海軍次官 山本中將來部

五、一七

經理局長 村上主計中將來部

"

囑託永井雄三郎來部



昭和一一、五、二五	共濟組合諮問委員會規定施行細則第四條ニ依ル諮問 委員ニ左記ノ者指定セラル 技 生 小西治市 實驗手 清本庄作 記録手 明石春二 實驗工 宮崎正雄 於部長室今期雇員昇給會議開催
五、二六	艦政本部第四部長山本造船中將來部
六、四	艦政理事久保平以下九名來部
六、七	滿鐵石炭液化事業ニ關スル協議會開催（第一日） 自午前九時 滿鐵側來廠者挨拶、廠内一般見學 至午前十一時三十分 自午後一時 一般會議 至午後五時
六、八	滿鐵石炭液化事業ニ關スル協議會開催（第二日） 自午前九時 廠内見學 至午前十一時三十分 滿鐵總裁松岡洋右以下一〇名來部

昭和一一、五、二五  
 共濟組合諮問委員會規定施行細則第四條ニ依ル諮問  
 委員ニ左記ノ者指定セラル  
 技 生 小西治市 實驗手 清本庄作  
 記録手 明石春二 實驗工 宮崎正雄  
 於部長室今期雇員昇給會議開催  
 艦政本部第四部長山本造船中將來部  
 艦政理事久保平以下九名來部  
 滿鐵石炭液化事業ニ關スル協議會開催（第一日）  
 自午前九時 滿鐵側來廠者挨拶、廠内一般見學  
 至午前十一時三十分  
 自午後一時 一般會議  
 至午後五時  
 滿鐵石炭液化事業ニ關スル協議會開催（第二日）  
 自午前九時 廠内見學  
 至午前十一時三十分  
 滿鐵總裁松岡洋右以下一〇名來部

昭和一一、	六、九	暹羅國海軍軍人二七三名來部
	六、二一	海軍大臣米內大將・軍務局長豐田中將來部
	六、二三	談話會代表者選舉當選者 雇員 小西治市 内山喜代太 藤井軍治 玉野 薫 工員 宮崎正雄 明石春二 角 高橋松之助 三原正博 佐藤乙一 池部福雄 清本庄作 末光敏文
	六、二八	吳警備戰隊司令官水戸少將以下八名來部
	七、九	大阪帝大工學部・香坂教授石野助教授來部
	七、一三	小松囑託研究指導ノ爲來部
	七、一四	東大工學部大島囑託來部
	八、六	滿鐵中央試驗所長代理丸澤常哉來部
	八、二〇	防空演習準備演習
	八、二一	防空演習本演習



昭和一一、	八、二六	東大工學部大島囑託來部
	八、三一	液化實驗裝置上家新營外一廉工事地鎮祭施行
	九、二八	燈火管制訓練實施
	一〇、四	九州帝大工學部安藤囑託來部
	一〇、一二	廠長月例巡視
	一〇、一三	於部長室油類凝固點測定法改正案審議及研究項目ニ關 スル協議開催
	一〇、一四	大型石炭液化實驗裝置機構ニ關スル協議 重合揮發油實驗結果ニ對スル協議 高級アルコール合成研究方針ニ關スル協議 九六式水添裝置關係研究事項ノ協議
	一〇、二六	吳鎮長官加藤大將來部
	"	小松囑託研究指導ノ爲來部
	一〇、二七	永井囑託來部

昭和一一、

八、二六

東大工學部大島囑託來部

八、三一

液化實驗裝置上家新營外一廉工事地鎮祭施行

九、二八

燈火管制訓練實施

一〇、四

九州帝大工學部安藤囑託來部

一〇、一二

廠長月例巡視

一〇、一三

於部長室油類凝固點測定法改正案審議及研究項目ニ關  
スル協議開催

一〇、一四

大型石炭液化實驗裝置機構ニ關スル協議  
重合揮發油實驗結果ニ對スル協議  
高級アルコール合成研究方針ニ關スル協議  
九六式水添裝置關係研究事項ノ協議

一〇、二六

吳鎮長官加藤大將來部

"

小松囑託研究指導ノ爲來部

一〇、二七

永井囑託來部

昭和二二。一一。一	工員進級試驗施行
一一。四	水谷滿鐵顧問來部
一一。一八	於第二會議室新設實驗部第一回委員會開催
一一。二〇	於部長室工員昇給會議開催
一一。二二	海軍參與官岸田正記、政務官一ノ宮房次郎來部
一一。二三	大島・田中・内田・小林教授來部
一一。二五	雇員昇給會議開催
"	研究指導ノ爲小松嶋託來部
一一。二六	水谷滿鐵顧問來部
一一。三	安藤嶋託來部
一一。四	御宿新廠長着任
一一。一〇	新廠長巡視
一一。一七	京大喜多教授來部
一一。二一	丸澤滿鐵中央試驗所長及同阿部燃料科長來部

昭和二十二年十一月一日

工員進級試驗施行

水谷滿鐵顧問來部

於第二會議室新設實驗部第一回委員會開催

於部長室工員昇給會議開催

海軍參與官岸田正記、政務官一ノ宮房次郎來部

大島・田中・内田・小林教授來部

雇員昇給會議開催

研究指導ノ爲小松嶋託來部

水谷滿鐵顧問來部

安藤嶋託來部

御宿新廠長着任

新廠長巡視

京大喜多教授來部

丸澤滿鐵中央試驗所長及同阿部燃料科長來部



昭和二三、	一、四	研究部工員食事場ニ於テ研究部長ノ年頭訓示アリ
	一、七	阪大工學部香坂教授來部
	一、一八	永井囑託來部
	一、一九	〃
	一、二五	台灣新竹市海軍天然瓦斯實驗所實驗終了ニ付閉鎖
	一、二三	小松囑託研究指導ノ爲來部
	一、二八	研究部工員食事場ニ於テ部長訓示アリ
	二、八	財部海軍大將來部
	二、一二	研究部工員食事場ニ於テ部長訓示アリ
	二、一七	東京工業大學内田教授來部
	二、一八	午後六時三十分ヨリ約二時間燈火管制訓練實施
	二、一九	帝國燃料興業株式會社牧田總裁・大淵(三樹)副總裁・弘岡(好忠)理事・山中(政之)理事・後藤(保清)理事來部

昭和二三、

一、四

研究部工員食事場ニ於テ研究部長ノ年頭訓示アリ

一、七

阪大工學部香坂教授來部

一、一八

永井囑託來部

一、一九

〃

一、二五

台灣新竹市海軍天然瓦斯實驗所實驗終了ニ付閉鎖

一、二三

小松囑託研究指導ノ爲來部

一、二八

研究部工員食事場ニ於テ部長訓示アリ

二、八

財部海軍大將來部

二、一二

研究部工員食事場ニ於テ部長訓示アリ

二、一七

東京工業大學内田教授來部

二、一八

午後六時三十分ヨリ約二時間燈火管制訓練實施

二、一九

帝國燃料興業株式會社牧田總裁・大淵(三樹)副總裁・弘岡(好忠)理事・山中(政之)理事・後藤(保清)理事來部

昭和二三、	二、二〇	午前十時防空演習開始
二、二二	軍需局長氏家中將來部	
三、三	敬禮正整強調週間實施	
三、五	研究部工務主任ヨリ工員食事場ニ於テ敬禮ニ關スル講話アリ	
三、六	体操強調週間實施	
三、一〇	海軍大學校鍋島少將、林機關大佐來部	
三、一二	滿鐵撫順石炭液化工場深山達藏來部	
三、一三	服裝整備強調週間	
三、一九	構内掃除整頓週間	
三、二〇	廠長月例巡視	
三、二六		
三、二二		

午前九時ヨリ防空訓練開始

廠長月例巡視

構内掃除整頓週間

服裝整備強調週間

滿鐵撫順石炭液化工場深山達藏來部

海軍大學校鍋島少將、林機關大佐來部

体操強調週間實施

研究部工務主任ヨリ工員食事場ニ於テ敬禮ニ關スル講話アリ

敬禮正整強調週間實施

軍需局長氏家中將來部

午前十時防空演習開始



昭和二三、三、二五  
 三、二七  
 四、二  
 三、二八

滿洲國江防艦隊順天艦長以下七名來部  
 服務向上週間  
 服務向上週間ニ關シ研究部工員食事場ニ於テ工務主任ノ講話施行

昭和二三、三、二五

滿洲國江防艦隊順天艦長以下七名來部

三、二七

服務向上週間

四、二

服務向上週間ニ關シ研究部工員食事場ニ於テ工務主任

三、二八

ノ講話施行

(終)